

ずっと大府  
もっと大府

大府市議会議員  
ふじもと宗久  
政治活動新聞

令和6年春号



市政・地域の情報、日頃の活動を発信中  
お友だち登録をお願いします



### まちづくりを

## 住民の皆さんとともに

### 都計道「大府駅西健康の森線」を考える会

「皆さま、『都市計画道路 大府駅西健康の森線』という道路をご存じでしょうか」という投げかけをさせていただき、本年2月20日に石ヶ瀬会館ホールにて、第一回目の勉強会を開催いたしました。世話人として、私、藤本宗久のほか、地域選出の市議会議員である木下久子氏、野北孝治氏、加茂康治氏、そして広域の立場から県議会議員の日高章氏にも加わっていただきました。



(写真)真剣に耳を傾けられ、熱気に包まれた会場(石ヶ瀬会館ホール)の様子

「都市計画道路」とは、交通・環境・防災・土地利用の誘導など様々な機能をもち、これらの機能を十分に活用して、「快適で良好なまちづくり」という目的のために都市計画決定された道路のことです。

都計道「大府駅西健康の森線」は、大府市の都市計画に記されている、大府駅西口とあ

### 岡村市政、3期目へ

#### 3月の市長選、無投票当選

私は今回の大府市長選挙に向けて、昨年9月の一般質問を皮切りに、12月からは「岡村ひでと後援会」の事務局長として、岡村秀人さんを全力で応援してまいりました。皆さまのご支援のおかげをもちまして、3月17日の告示日に無投票当選が確定し、3期目の市政運営がスタートしました。大府市の10年後、20年後を見据えたまちづくりを大いに期待いたします。



### 令和6年3月までの半年間の主な活動

- 10月 中学生平和大使派遣事業報告会、知多北部広域連合議会視察(富山県ほか)、議会運営委員会視察(亀岡市、加賀市)、森岡自治区環境研修会、産業文化まつり、厚生文教委員会視察(戸田市ほか)
- 11月 階の親子防災教室、石ヶ瀬コミリンピック、大府シティマラソン、岐阜市学びの多様化学校(不登校特例校)視察、至学館大学越智ゼミとの意見交換会、大府シティウォーキング大会
- 12月 市議会12月定例会、大府市合唱祭、あいち知多農協青年部情報交換会、石ヶ瀬自治区年末深夜パトロール、おおぶニックのWA交流会、石ヶ瀬児童老人センターバイオリン講座
- 1月 地元神社元旦祭、会派熱田神宮初詣、大府商工会議所賀詞交歓会、成年後見制度講座(社協)、日高章後援会伊勢神宮初詣、親和クラブ視察(菊陽町ほか)、三市一町保守系議員研修会幹部会、石ヶ瀬議会報告会、スマート農業報告会、山形市議会行政視察受入
- 2月 知多北部広域連合議会定例会、熱田神社建国祭、岡村市長市政報告会(市内各公民館)、おおぶニックのWA報告会、大府駅西健康の森線を考える会、市役所業務改善発表会、「ガザ素顔の日常」上映会、タンザニア報告会
- 3月 市議会3月定例会(予算ほか)、市議会臨時会、大府市長選挙、市議補欠選挙、小中学校卒業式、自民党第七選挙区会議、こども家庭センター内覧会



健康の森公園を直接結ぶ道路のことです。そして現在、国道155線「大府森岡交差点」から市道大府駅西線をつなぐ未整備区間について事業化の目処がたっていないという状況です。

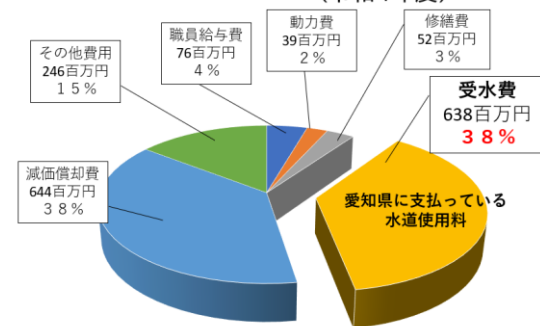


私もマイクを持ち、大府駅西、ウェルネスバレーの可能性について、熱く語らせていただきました

立ち上げたこの勉強会は、都計道健康の森線のあり方に ついて周辺住民の皆さまとの意見交換を通じて、一緒に大府駅西側のまちづくりを考えていくことを目的としています。今回はその始めとして、この都計道を知っていただくために、世話人からの話を中心となりました。第二回目以降はワークショップ方式など、皆さまからご意見をいただくような会の進行も検討してまいります。これからのまちづくりは、「協働から協創へ」です。

## 12月議会での一般質問 どうなる、今後の水道料金

### 大府市の水道事業費用の構成比(令和4年度)



県からの水道料金(受水費)が、今後2年間に5.6%引き上げとなる

(意見)大府市の水道料金はどうなるのか、安易な価格転嫁には反対です。

本市の水道事業が企業会計である以上、まずは県営水道使用料のコストアップを吸収すべく、事業の総点検を行うことは当然のことです。コスト削減策として、広域連携以外にも、あらゆる経営資源をフル活用するなど、知恵を出して取り組まれることを期待し、この点は議員として今後しっかりと注視してまいります。

### 3月議会での一般質問

大府市は人口10万人となるか

(問)計画人口10万人に対する見通しはどうか。

(答)昨年12月に人口問題研究所が公表した推計人口では、令和12年に95,895人に達すると推計された。本市の分析でも、横根平子・北山区画整理事業や現在計画されている民間開発が進み、第6次総合計画期間、人口は緩やかな増加を続け、計画人口10万人に向けて推移すると考える。

(意見)近年、技術の進化や世の中の変化の度合いが著しく、十年後と予想されていた事態が間近に起こるような状況となつてきています。本市の人口が減少傾向となり、少子化が顕著になる時期も目前なのかもしれない。今後は変化の速度を加味した視点での未来予測も必要なのだと思います。

行政視察の訪問先(令和5年10月~令和6年1月)

	訪問先	テーマ
議会運営委員会	京都府亀岡市	議会活性化、議会におけるICT化推進について
	石川県加賀市	議会活性化、議会におけるICT化推進について
親和クラブ	鹿児島県南九州市	空き家対策について
	鹿児島県南九州市	知覧特攻平和会館
	熊本県	県防災センター
	熊本県菊陽町	企業誘致とまちづくり、人口増の影響について
厚生文教委員会	福岡県那珂川市	まちの活力アップの取組について
	埼玉県戸田市	戸田市の教育改革の取組について
	千葉県松戸市	子育て支援の取組について
知多北部広域連合議会	東京都小金井市	子どもの権利、子どもオンプズパーソンについて
	岐阜県岐阜市	子どもの学びの多様化学校(不登校特例校)
	岐阜県揖斐広域連合	介護保険事業の取組について
	富山県	富山介護テクノロジーセンター



親和クラブの行政視察  
熊本県菊陽町役場での集合写真  
この後、熊本県防災センターへ

**他自治体の先進事例を視察**  
令和5年度下半期、県外自治体の先進事例を数多く視察してきました。本市として参考にすべき事例は、会派や委員会ごとに様々な提案に取り入れてまいります。

**TSMC進出で話題 熊本県菊陽町**  
台湾の半導体メーカーであるTSMCが進出したことで話題となっている熊本県菊陽町。人口約4万人のこの町は、水資源が豊富なこと、空港や熊本市との距離も近いことなどで大手の工場進出の条件が揃っているという背景はあり

ました。しかし、数十年前の土地利用計画の段階から基幹道路の整備と並行して、宅地、農地、工業地域等をしつかりと区分けしたまちづくりを行ってきたため、地下上昇等の変化はありつつも、行政にとってTSMCの進出は特別なことではなく、国や県の補助金等を効果的に活用し、競技場等の公共施設を着々と整備してまいりました。

**学びの多様化学校 岐阜市立草潤中学校**  
中部地方では初となる公立の学びの多様化学校(不登校特例校)、草潤中学校の校舎は、閉校した小学校の校舎を使用していました。校則、制服

は、週に数日の登校も認められ、担任は生徒の希望で使用する教室のほか、一人学習、くつろぐ居場所、楽器演奏など様々な部屋があり、利用は生徒の自由ですが、どこにいても担任が把握できるようになっています。生徒数約40人に対して、教員、支援員など合わせて約30人で生徒の対応に当たっていました。

**普及・推進センター 介護ロボットの実情**  
これまでの介護ロボットが介護する側の負担軽減を目的としたものが多かったのに対し、近年の介護ロボットは介護を受ける側の快適さが重視されるようになってきたようです。より低単価で操作性のよいロボットの実用化が待たれるところです。



熊本城 崩れた石垣の復旧にはまだ30年かかるのだそうです  
知覧特攻平和会館 命の尊さ、戦争の悲惨さを改めて実感しました



「移乗サポートロボット」  
一人で立ち上がることが難しい方に、車いすやトイレへの移乗をサポートするロボット

これまで介護ロボットが介護する側の負担軽減を目的としたものが多かったのに対し、近年の介護ロボットは介護を受ける側の快適さが重視されるようになってきたようです。より低単価で操作性のよいロボットの実用化が待たれるところです。

は、週に数日の登校も認められ、担任は生徒の希望で使用する教室のほか、一人学習、くつろぐ居場所、楽器演奏など様々な部屋があり、利用は生徒の自由ですが、どこにいても担任が把握できるようになっています。生徒数約40人に対して、教員、支援員など合わせて約30人で生徒の対応に当たっていました。



学びの多様化学校の校内にある図書室。居場所としての活用も意識した用具が配備されていました(岐阜市立草潤中学校にて)

**矢戸川緑地「矢戸川竹林の小径」**  
地域の資源、みんなで守っていきましょう  
本年3月、終山町の矢戸川緑地で、緑地の保全と緑と水辺を身近に感じられる市民の憩いを目指した「矢戸川竹林の小径」が整備されました。元よりこの場所は、閑静な住宅街の中に残された竹林でしたが、知多市にある「ちたの竹林」を視察した岡村市長が、「大府市にも是非このような緑地を整備して市民の心に潤いを届けたい」との思いから、この事業が計画されたといいました。  
竹は成長が早く、竹林は定期的な手入れが必要といわれています。他方、竹林は筍の収穫の

**「見える議員」街頭あいさつ活動**  
大府駅西交差点  
毎週月曜日6時30分~8時  
(雨天翌日)

議員生活も6年目となり、大府駅西交差点。姿が見える、活動が見える、政策が見える、そうした議員が目指すところ。今後も、皆さまにとつて最も身近な議員でありたいです！

みならず、伐採した竹は有用な資源としての活用もできるのです。この竹林が地域の子どもや大人が遊びながら、手入れ・維持活動を通じて、新たな協働の場として、地域に馴染んでいくといいと思っています。



矢戸川緑地(終山町八丁目地内)「矢戸川竹林の小径」にて

**ここ最近、私が注目する 市民活動、ボランティア・地域貢献活動**

**石ヶ瀬小学校 きらきら★ボランティア**  
「ありがとう(感謝)日本一」を掲げ、石ヶ瀬小学校の児童が自らの意思で所属するボランティア活動があります。昨年11月には「日頃の地域の見守り活動に感謝し、その活動に協力したい」との申し出により、市、警察、地域ボランティアの皆さんと一体となった見守り活動が実施されました。

**大府アフリカ教育支援プロジェクト**  
共長小学校の児童が始めたアフリカへの支援活動を市民活動として引き継いで現在に至っているそうです。現在は、タンザニア・ウスワ地区への教育環境の改善、児童生徒の学力向上のお手伝い、そして大府市民とウスワ地区の人々との交流を目指し、資金援助(中古本販売や募金)、交流活動、現地での学習生活改善支援、アフリカ紹介活動といった取り組みを行っています。右の写真は、今年2月にコロンビアで開催された報告会の時のものです。

**おおぶニックのWA**  
有機農業に取り組むこの団体の活動は、前号でご紹介いたしました。昨年は、田んぼの草刈りや収穫作業の経験をさせていただき、12月には収穫した「おおぶニック米」を試食しながら、代表の杉山さん、活動を指導する佐々木さん、農家の本田さん、市民グループ「Farm to Table」の皆さんらと様々な意見交換をさせていただきました。今年もまもなく田植えがはじまります。楽しみです。